

エゾウコギ食品の更年期不定愁訴および骨代謝改善作用について

学術誌「機能性食品と薬理栄養」に掲載されました

機能性食品と薬理栄養 Vol.10 No.6(2017) に掲載

最終月経から1年以上経過して更年期不定愁訴を自覚している女性(クッパーマン更年期指数問診票スコア 16点以上 34点以下で、不定愁訴の程度が軽度から中等度)において、エゾウコギ食品の16週間摂取により、クッパーマン更年期指数問診票スコアによる主観的不定愁訴、さらに骨代謝が改善されることを、2015年の[第13回日本予防医学会学術総会において発表](#)しましたが、その成果が論文として学術誌「機能性食品と薬理栄養」に掲載されましたのでご報告いたします。

《詳細》

掲載誌：機能性食品と薬理栄養 Vol.10、No.6(2017)

タイトル：エゾウコギ食品のヒトにおける更年期不定愁訴ならびに骨代謝改善作用

著者：星崎昌子¹、竹腰英夫¹、増田康²、齋藤正実²

所属：1)株式会社サン・クロレラ、2)株式会社 SOUKEN

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。